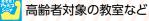
新型コロナウイルス感染防止のため、本誌掲載のイベント・ 講座などは、変更・中止する場合があります。

もくじ

えび人 vol.45	02	私と海老名 その9	07
今号の表紙	03	ホール・ギャラリー	80
HUGHUG子育て	04	相談	09
市民の広場	07	図書館	10

「広報えびな」の共通マークとルール

置費用 闘持ち物 個その他 僵任期 ■主催 ■Eメール ■ホームページ 問問い合わせ 予予約制 湿除祝日を除く 体休み







500 市制施行50周年記念事業

市外局番…省略している場合はすべて [046] です 市○○○課への郵送…「○○○課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬 175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください

市役所開庁時間…省略している場合は原則「月~金8時30分~17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力 ありがとうございました。



書道と海老名が好きなので書きました。 柏ケ谷小学校 杉山春陽さん(10歳)

森田正廣さん



写真

タイトル:秋色の候 撮影場所:勝瀬地区

撮影者:中新田在住



(編՝集՝雑՝記)

市制施行50周年に向けて連載している「私と海老 名」。今回伺った市制施行前から現在までの東柏ケ谷の 変遷は、海老名歴約10年の私には新しく、貴重なお話で した。この連載もあと2回。海老名の変わっていく良さ と変わらぬ良さ。それぞれの方の思いを皆さんと共有 し、海老名の魅力が広がることを願います。(M)





と、穏やかに振り返ります。 これからも ない人生だな、と思う時もあるけどね」 に「誰かの役に立ちたい」という思いも。 . 戦後の大変な時代を経験しましたし。 吉田さんを多くの活動へと動かす

盛り上げようと、かっぽれ踊り、 恥ずかしいけど、 地域の伝統的な踊りという認識でやろう の見守り活動も、子どもたちの成長と人 けていかなければ伝統も何もないからね」 と。全く縁のない世界で今でも踊るのは れていたといいます。 めたかっぽれ踊りは、この地で盛んに行わ とのつながりを実感できる場です。 と、地域を盛り上げるために余念があり 有志を募って始めた児童の下 約65年前に地域の青年団が始 目的は地域活性化。 「昔やっていたなら を復活さ · 校

今月のえび人

をしている吉田さん。

育った東柏ケ谷でさまざまな地域活動

吉田茂男さん (東柏ケ谷在住・79歳)

これまで東柏ケ谷二丁目自 治会長、東柏シニアクラブ会 長、民生委員・児童委員など を務める。「横浜いのちの電 話」で活動した12年間を原点 にボランティア精神が醸成さ



広報えびな2021年9月15日号